

9. 熔融金属のレベル測定

熔融のレベルをライン上で連続・非接触で測定ができます。

測定原理

シールドされた電極を
熔融金属の上に離して
設置します

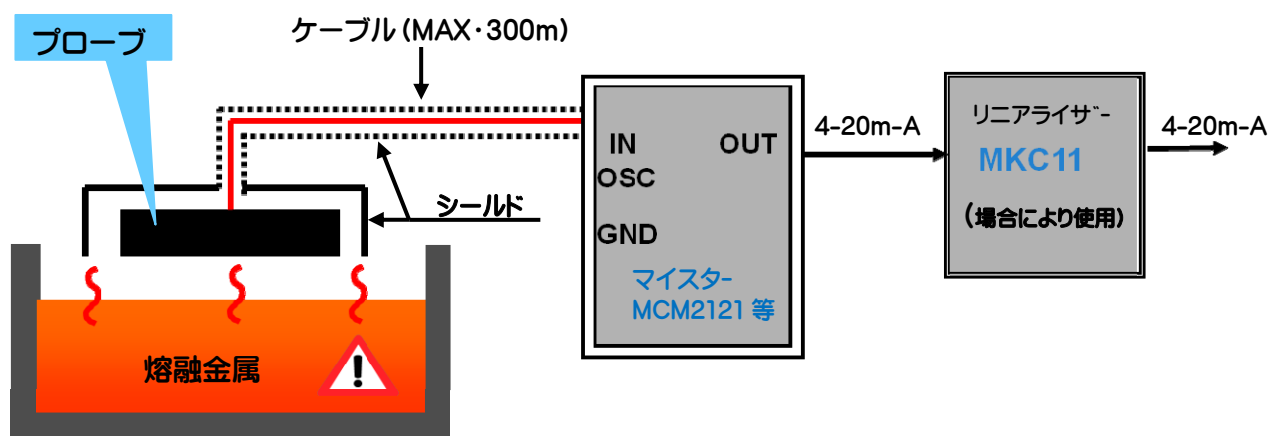
電極と熔融金属と空間
の電気特性を
測定します。

それが、
電極と熔融金属
との距離です。

マイスターシリーズは電極頭部には電子回路を必要とせず 300m
離れた所に設置でき、ケーブルの静電容量の影響を受けずに測定可能です。

プローブ頭部が高温に晒されても熔融金属までの距離を測定出来ます。
それが、マイスターMCM2000・MYM3100 シリーズです、

機器構成



使用方法

プローブ → 高温に耐えるように、材質・熱膨張等を特殊設計します。

使用ケーブル → 2芯個別シールドを 300m 以内で使用します。
また、端子位置が高い時は高温用ケーブルを使用しま

変換器 → 万能電極式レベル計として開発された **マイスター-MCM2121・MYM3110** を
使用します。また、測定距離により**リニアライザーMKC11** が必要になります。